

# 日刊 労働千葉

87. 10. 1  
No. 2667

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

特集その1

# 10・11三里塚

## 反対同盟の決意は不動！

すべての組合員のみなさん！  
いよいよ十月、本年最大の労働者人民と中曽根反動内閣との決戦の月に突入した。中曽根の戦争政治を許すのか？ 国鉄労働者十万人の首切り―百名を「自殺」に追いこみ、これからもなお労働者の奴隷的支配を強制しようとする中曽根―松崎連合を許すのか？ 天下分け目の十月だ。

すさまじい二期攻撃、反対同盟破壊攻撃のなか、敷地内でたたかう反対同盟は不動の決意を固めている。今回は、市東東市さんの談話を掲載します。



敷地内 市東東市さん

反人間的な成田空港は、いまだに滑走路一本のぶざまな片肺空港の姿をさらしている。われわれ反対同盟は、農地死守・実力闘争の基本路線を貫き、ただただ勝利を求めて前進し、最後の最後までたたかいていく。この決意は不動だ。  
三里塚の二十一年の勝利が何によつてかちとられたのかといえば、戸村思想の中心である労農学共闘の力、これが何んといつても大きい。  
小川さんらが記者会見を行つて「脱退」の表明

を行つたが、あの行為はどんな意味でも正当化できない。「農民独自のたたかい」ということを強調しているが、それは結局労農学共闘の否定、さらには三里塚闘争二十一年の原動力を否定することになる。  
いずれにしても反対同盟は微動だにしないものではない。このたたかいは敗北するようなことがあれば、三里塚農民だけではなく全人民の未来がなくなってしまう。

10・11総決起で10月出向阻止しよう！

JR当局による奴隷的労務支配に、いまや国鉄労働者の怒りは極限に達している。強制出向・配転、差別・選別、賃金カット、もう絶対に黙ってはいられない。しかし、スト権確立以来のたたかいが敵を追いつめていくことは確実だ。革マル松崎をして「動労千葉の妨害で出向がうまくいかない」。  
10・11青年部五割動員を先頭に総決起を何んとしても実現し、十月出向阻止、「六三・三」大合理化粉砕、「4・1体制」打破に向け全力でたたかおう！

## 天皇を拒否する沖縄

九月一日、沖縄で「天皇訪沖に反対する主催者県民会議」が結成された。天皇を拒否する沖縄県民の総意がここに結集したのだ。主催者県民会議は、「機動隊や右翼勢力は天皇警備のためなら何をしても構わないとばかりに全住民を力で押さえつけようとしています」しかし、「沖縄の反戦・平和の生活と闘いとはこん

主催者県民会議  
10・23-25 鳥ぐるみ総決起を！

沖縄では県民の反撃が始まっている！

なことで、挫けてしまふようなものでは決してないはずですよ」と宣言し、天皇訪沖に反対する意見と百万名の署名、そして、10・23（25）に天皇訪沖に抗議・反対の総決起を訴えている。天皇制を護持するためにはみ沖縄を犠牲にした天皇を断じて許すな！ 天皇訪沖反対の総決起を！

